

|  |                            |                                |   |                  |
|--|----------------------------|--------------------------------|---|------------------|
| 提案年月日  | 平成18年3月29日                 |                                |   |                  |
| 提案名  | 機械換気の部品・部材における測定方法の統一化について |                                |   |                  |
| 提案者氏名等   | 提案者氏名                      | フリガナ                           | ケンチクケンキュウカイハツコンソーシヤム キカイカンキヲヒンブサイニオケルソクテイホウホウケントウカイ |                  |
|  |                            | 氏名                             | 建築研究開発コンソーシヤム<br>機械換気の部品・部材における測定方法検討会              |                  |
|  | 提案者連絡先                     | 所属                             | 機械換気の部品・部材における測定方法検討会 幹事                            |                  |
|  |                            | 氏名                             | 栗原 潤一   |                  |
|  |                            | 住所                             | 〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12<br>トリトンスクエアZ棟 4階           |                  |
|  |                            | 電話                             | 03-6219-7127  | FAX 03-5560-8022 |
|  | E-Mail                     | conso-cp@conso.jp              |   |                  |
|  | 提案者所属                      | 名称                             | 建築研究開発コンソーシヤム<br>機械換気の部品・部材における測定方法検討会              |                  |
|  |                            | 住所                             | 〒104-6204 東京都中央区晴海1-8-12<br>トリトンスクエアZ棟 4階           |                  |
|  |                            | 電話                             | 03-6219-7127  | FAX 03-5560-8022 |
| E-Mail   |                            | conso-cp@conso.jp              |   |                  |
| 関連法規等  | 法律名称                       | 建築基準法                          |   |                  |
|  | 関係条文・告示等                   | 改正建築基準法に対応した 建築物のシックハウス対策マニュアル |   |                  |
| 提案内容   |                            |                                |   |                  |
| <p>建築基準法に定められた機械換気量の計算において、建築物のシックハウス対策マニュアル 5.2.4. 機械換気量の計算方法 (3)換気経路の圧力損失 の項(P.248)によれば、「各部材の摩擦損失係数、圧力損失係数についてはメーカーデータを用いることができる。また、メーカーカタログ等による各部材の抵抗損失曲線から直接圧力損失値を読み取って計算してもよい」と記載され、同数値を用いて圧力損失の合計値を算出している。</p> <p>しかし、ダクトの摩擦係数、部品・部材の圧力損失係数といったカタログに記載されている性能値は、各部品・部材メーカーにより測定条件が異なるため、同じ部品・部材でも異なる性能になっていることがある。そのため、建築確認申請時や住宅型式適合認定申請時に根拠を求められ混乱することがある。</p> <p>また、カタログ記載の性能値を用いて、計算しても実換気量の不足や換気過多になっている可能性もある。</p> <p>そこで下記の提案を行いたい。</p> <p>カタログデータの根拠の明確化と計算精度の向上を行う必要がある。そのために、機械換気設備における部品・部材について、例えば「住宅用ダクト式機械換気システム設計計算法の精度向上プロジェクト((財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター)」において検討されている試験方法案のような、信頼性のある測定方法の明確化及び統一化を図っていただきたい。さらに、その際に、運用上の混乱を招かないために、新測定方法による値と各部品・部材メーカーのカタログ記載値や取得済み住宅型式適合認定の適用範囲等が読み替えができるような配慮もしていただきたい。</p> |                            |                                |   |                  |
| 提案に係わる技術的根拠の主旨   |                            |                                |   |                  |
| <p>その他、補足説明、提案の非公表に関する希望等</p>  |                            |                                |   |                  |